



会長になって早一年がたち、今後の静岡県インテリアプランナー協会の方向性について再度思考錯誤しているところです。会長所信でビフォーアフターのな物やっけて行こうと、かかげましたが、どの様な切り口からスタートしたら良いか迷っているうちに時間だけがたって行く毎日に焦りを感じています。取り急ぎ対象物件の公募から初めて担当デザイナー、建築士ならびに施工管理会社から協力会社を選出して公募するグループと、実務を行うグループとそれをメディアに提供するグループと、大きく分けて各委員の枠を超えた形でも良いので適任者の選出からはじめ様と考えています。このプランナーニュースをみて「私の会社はこんな協力できる」「クライアントとなる良い方を知っていますよ」などいろんな情報を頂けたら幸いです。今回こんな企画をやるうと思いついたのは何時も疑問に思っていた事があり、現在日本のインテリアシーンで名前を聞く団体や名前は、インテリアコーディネーターが殆どなのです。なぜなのだろう？と考えると、我々プランナーの殆どが建築士の集まりから成り立っていて、現在の建築士の大半が建物の法規から始まって現在問題になっている構造計算等難しい問題を処理し

てからインテリアのプランニングをしており、とても老体にムチを打っても最後までパワーがつかまきません。それを円滑に行えるのは、少しのひらめきと、目で見た経験を活かしたいろいろな空間が頭のなかに入っているかだと思ひます。せめて静岡県プランナー協会から全国に向けてインテリアコーディネーターでは難しい耐震なども考慮に入れた建物本体からみるインテリアデザインを発信したいと思ひています。それに向かい、今後素晴らしい空間やインテリアを見に行き、何でこの空間がこんなにも素晴らしいのか？、何で心に訴えるのか？みんなて考えながら話が出来るといふ小さな集まりを何回もやっけて行きたいと思ひています。たとえばインテリアの素晴らしいレストランでディスカッションしながら食事をするとか・・・。今後も静岡県インテリアプランナー協会のために頑張っけて行きたいと思ひていますので協力のほど宜しくお願ひします。

IPEC-2007の報告

JIPA担当理事 東條和子

JAPANTEX（日本インテリアファブリックス協会）、東京国際家具見本市（国際家具振興会）、インテリアフェスティバル（インテリア産業協会）と同時開催で、IPECが2007年11月21日から4日間、東京ビッグサイトで開催されました。IPECはプロ向けのセミナーや提案展示を主体として続てきましたが、他の展示会では一般生活者の来場も期待しているため昨年に続き日曜日までの開催となりました。IPECのみの来場者数は4日間で32,335人との報告があり、平日が休日の倍以上となっています。インテリア関連のイベントを一同に開催するという事は、私たちがのように地方に住む者にとって一度にかなりの研修ができるメリットがあります。また、一般の方々や行政関係へのアピール力が増すことにもなっているようです。また今年もオープニングには高円宮妃殿下がテープカットにお越し下さり、IPECの会場内も熱心にご見学されていたとのことです。IPEC出展者数は過去に比べれば減少しているのは事実です。イベント同時開催は出展企業も重複するわけではなくと区分されてきました。IPECへの出展は、新技術や開発商品、コラボレートへの提案等、まさにJIPAの期待通り、これまでのイベントと一線を画す内容になってきたように思ひました。JIPAも設立後数年が経過し、地方協会それぞれの活動のバックアップ、資格者増大の為の受験者支援などの活動を続てしています。IPEC開催は活動の大きな柱になっています。東京IP協会がリーダーとなり、頑張っけてくださっているお陰と思ひております。2008年も11月開催が決定していますので、次回は是非ご見学下さい。

